

海老名災害ボランティアネットワーク 平成31年度 第1回(4月)定例会、議事録

開催日時：2019年4月4日(木) 19時～21時、会場：海老名市総合福祉会館、第3娯楽室

【出席者】(敬称略) 上野南津子、小澤昌平、嶋原義弘、嶋原やわた、杉下英樹、鷺見一雄、野中義彦、野本みな子、星野隆一郎、水本晶子、山本由美子、福田博(議事録作成)、計12名

本日、新規入会者で定例会に初参加の方から自己紹介(上野南津子、嶋原義弘)をして頂きました。

(1) 会計より報告

- ① 一般会計 2019年3月末日の残金 225,545円(前月に比べて+2,316円増、3・9寄付)(3月末まで会費納入者)個人会員22名(±0)、賛助会員12名(±0) 団体会員3団体(±0)
- ② 特別会計：46,000円(前月比で-8,000円減)西日本豪雨災害でボランティアバス参加者へ補助

(2) 活動報告；(2019年3月7日の定例会～4月4日の定例会まで)

1) 3月8日(金) 13時～ボラ連定例会、総合福祉会館第3会議室

海老名市ボランティア連絡協議会の平成30年度役員体制及び活動方針の確定、出席：水本、福田
○海老名市ボランティア団体連絡協議会に加盟している各団体に対して、平成31年度の活動助成金(各団体7万円)が4月下旬に支給される予定(「活動助成金の申請書」・「団体の参加者名簿」の提出が条件となっています)

2) 3月9日(土) 10時～12時、「くらしのセミナー」第3回防災講演会

海老名市地域婦人団体連絡協議会主催、会場：海老名市文化会館351多目的室、一般参加者42名
講演：「家庭で出来る防災・減災対策」、講師：福田博(海老名災ボラ代表)。

- ①参加者の住んでいる地域では、どのような自然災害の危険があるかをマップから読み取る。7テーブルに分かれ、防災マップ、ハザードマップ(洪水)などを広げてグループ討論を実施した。
- ②地震災害に対する「備え」(耐震診断・耐震補強、家具類の固定、水と食糧の備蓄、災害時のトイレ対策など)について、講演を「きっかけ」として、どこまで実施しているかグループごとに話し合った。
- ③洪水と土砂災害の危険性とその対策については、市危機管理課の山口職員が講演を行った。

3) 3月15日(金)「全国社協のボランティア保険加入」について、社協と協議(福田代表)

ボラ連加盟団体の会員に対して、社協がボランティア保険(基本型)加入を進めている(基本タイプA型350円/1人を社協が支払って加入)。海老名災ボラの個人会員については、平成31年度の加入が認められた。福田代表は、賛助会員の社協費用でのボランティア保険加入を要望したが、賛助会員は「活動に参加する実績がない」ので、それはできないと断られた。今後、賛助会員で活動に参加する方がいる場合に、(個人負担か災ボラ負担か)ボランティア保険への加入を勧めるかという課題が残っている。

4) 3月22日(金) 災ボラの定期総会への招待状を海老名市、海老名市社協に渡す(福田代表)

招待状：海老名市長、市長室長、危機管理課長、海老名市社協会長、社協事務局長

従来、総会の案内状を送っていた海老名選出の「県議会議員」については、現在、3名の方が立候補しており(1名は災ボラの個人会員、1名は賛助会員、1名は会員ではない)である。今回の県議会議員選挙で誰が当選するか分からないので、災ボラの定期総会の案内状は出していない。

4月7日の開票で当選者が決まるので、当選した県議会議員に招待状を出すかどうか議論となった。

結論は、今回、県会議員に招待状を出さないことになった（「来賓あいさつ」も求めない）。

海老名災ボウに海老名の市会議員がたくさん入会していた時期もあったというが、その時に司会議員の「来賓あいさつ」はなかったようである。定例会で「何時からどのような理由で」定期総会で県会議員が「来賓として挨拶する」ようになったか、定例会に出席した古い会員から「その当時の災ボウ代表の個人的な関係から来賓者が決定されたように感じている」という話があった。誰を来賓にするかをめぐって、災ボウの定例会で議論したことはなかったように思われる。

海老名災ボウと来賓者（団体）の関係について、今回の定例会で初めて原点から議論された。

①来賓の筆頭は、海老名市役所（行政）の関係者（市長、市長室長、危機管理課長）である。次に、海老名市社会福祉協議会（会長、事務局長）である。その理由は、海老名市及び市社協とは、具体的な防災・減災活動によって協力関係を作ってきており、毎月の3者定例会を通じて、今後とも協力を進めていくことは防災・減災活動の前進にとって重要な意味がある。

②神奈川県との関係については、「何らかのつながり」があった方がよいという意見が出された。現在、海老名災ボウは神奈川災ボウに加盟している。神奈川災ボウは今日、神奈川県社会福祉協議会、神奈川県庁県民部（県民サポートセンター）、神奈川県共同募金会と連携を作ってきている。海老名災ボウは神奈川県庁（行政）との関係については、神奈川災ボウを通じて繋がりを作っていく報告である。

以上の理由から、今回の定期総会（4月13日）では、県会議員の「来賓あいさつ」を求めないことになった。

（福田博の見解）海老名災ボウは、市民に対して防災・減災活動を進めることを目的にした組織であり、政治活動や宗教的な活動をする団体ではない。同時に、会員個人が海老名災ボウとは直接関係ない場で、政治的活動や宗教的な活動することは個人の自由であると思う。海老名災ボウが特定の政治団体や宗教団体を支持したり、または排除したりすべきものではないと思う（組織としての公正・中立）。

5) 3月25日（月）、14時～16時、海老名市防災関係「3者定例会」、海老名社協の事務所

出席：社協：新倉、危機管理課：山口、災ボウ：福田、水本

平成31年度のコーディネーター養成講座の今後の開催方法について検討。開催日程を1日間（午前座学、午後センター運営訓練）、時期：2020年2月、フローアップ研修を19年11月頃実施。

6) 4月1日（月）会計監査 16時～19時 総合福祉会館第4会議室

出席者 会計：松井、三宅、会計監査：永山、野本、代表：福田、副代表：水本、

副代表候補：星野、会計候補：小澤、平成31年度予算案の検討も合わせて行った。

(3) 今後の予定（2019年3月～4月まで）

1) 4月4日（木）19時～21時、4月定例会、第3娛樂室（1階）

4月4日の定例会で議案書の内容を検討、それを役員が総会に提案することの承認を得た。ただし、資料（議案書）が受信できない人や読んだ人が少なかったため、議案説明が分かりづらかったという。

2) 4月5日（金）9時～13時、総会資料（議案書）の「印刷」及び「郵送」作業

会場：海老名市総合福祉会館：印刷機（事務室前）に集合、ボランティア室で作業した。

出席者：福田博、星野隆一郎、水本晶子、野本みな子、ご苦労様でした。

総会資料（議案書）の印刷代金840円（A4版9頁、80部印刷）

郵送したもの：総会案内状、総会資料、委任状（はがき）を封入し海老名郵便局で投函した。

費用は、120円×35通=4,200円。

- 3) 4月21日（日）10時～イオン・黄色いレシートキャンペーン、賞金贈呈式、出席予定：水本
4) 4月26日（金）14時～海老名防災関係3者定例会、（会場は海老名市社協事務所か福祉会館か）
社協の担当者は岩澤リーダーに代わります。災ボラの出席予定は福田、水本

（4）海老名災ボラ第18回定期総会での役割分担、4月13日（土）の詳細

日時：4月13日（土）14時～17時、会場：海老名市総合福祉会館、第1・第2会議室（2階）

- ① 会場設営：災ボラの個人会員は、13時に、会場に集合してください。
 - ② 【受付】 受付開始 13時30分～
出欠担当（出欠簿・委任状の確認）2名、野本みな子、山本由美子、
会計担当（会費と懇親会費）2名、松井俊輔、小澤昌平
 - ③ 【式次第】 司会進行 水本晶子
 - 1 開会の言葉 水本晶子
 - 2 代表あいさつ 平成30年度代表 福田博
 - 3 来賓あいさつ 内野優（海老名市長）、萩原圭一（市長室長）、高田（危機管理課長）、
河野誠一（社協会長）、内田（事務局長）
 - 4 議長及び書記の選出 議長：野中義彦、書記：小澤昭三、議事録確認者（当日、会場から）
- 【議事】 （議長は議長席に移動）
- 第1号議案 平成30年度事業報告 副代表：水本晶子
第2号議案 平成30年度決算報告 会計：松井俊輔、三宅良子
会計監査報告 会計監査：永山八郎、野本みな子
- 第3号議案 平成31年度役員選出（案） 提案 福田代表
新役員紹介 自己紹介：代表、副代表、会計、会計監査、事務局長
新役員挨拶 新役員を代表して新代表が挨拶
- 第4号議案 平成30年度事業計画（案） 平成31年度新代表（福田）
第5号議案 平成31年度予算（案） 平成31年度会計：松井俊輔、小澤昌平
（議事解任のあいさつ、議長は席へ戻る）
- 5 その他
 - 6 閉会の言葉 星野隆一郎

総会が17時より前に終わった場合、第1回の広報部会、専門部会を開催する予定でいます。
新しい会員の皆さんも含めて、それぞれの部会ごとに集まって、顔合わせと討論をお願いします。

○懇親会：懇親会の幹事：水本晶子、野本みな子

4月13日（土）17時～19時、会場：総合福祉会館、第3娛樂室、 会費：2500円

次回：2019年5月2日（木）19時～21時、総合福祉会館、第3娛樂室（1階）

次々回：2019年6月6日（木）19時～21時、総合福祉会館、